

男女共同参画社会に関する市民意識調査へのご協力のお願い

日ごろから市政に対し、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本市では、男女がお互いに人権を尊重し、ともに生き生きと暮らせる「男女共同参画社会」の実現に向けて、みなさまとともに様々な取組を進めています。

この調査は、次期男女共同参画計画の策定や今後の施策の実施にあたって、市民のみなさまのお考えをお聞きするため、市内に在住する16歳以上の男女1,000人を無作為に選ばせていただき、実施するものです。

大変お手数ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年〇月

君津市長 石井 宏子

【ご記入にあたってのお願い】

このアンケートは無記名でお答えいただいた上で、統計的な処理を行うため、個人が特定されることなく、調査結果は目的以外に使用することは決してございません。

1. 対象となったご本人（この郵便の宛名の方）がお答えください。
2. 記入は黒のボールペン、または濃い鉛筆でお願いします。
3. お答えは、この調査票へ直接ご記入ください。
4. お答えは、当てはまる番号に○をつけてください。ただし指示があるものについては、その指示どおりの記入をお願いします。
5. 設問によって、回答数を「1つ」「3つまで」「いくつでも」などとしていますので、その範囲内でお答えください。
6. 各質問で「その他」を選ばれた場合は、後の（ ）内にできるだけ具体的にその内容を記入してください。

記入していただいた調査票は、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、〇月〇日（〇）までに郵便ポストに投函してください。（切手を貼る必要はありません）

【調査についてのお問合せ先】

君津市市民環境部市民活動支援課

電話：0439-56-1565 FAX：0439-56-1629

E-mail：jichi@city.kimitsu.lg.jp

問ア 性別は、次のどちらですか。

1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 回答しない

問イ 年齢はおいくつですか。(令和3年〇月〇日現在)

1. 16~19 歳 2. 20~29 歳 3. 30~39 歳 4. 40~49 歳
5. 50~59 歳 6. 60~69 歳 7. 70~79 歳 8. 80 歳以上

問ウ どちらの地区にお住まいですか。

1. 君津地区 2. 小糸地区 3. 清和地区 4. 小櫃地区
5. 上総地区

問工 ご職業は何ですか。

1. 自営業主・家族従業員 2. 正社員、正職員
3. アルバイト・パート（学生除く） 4. 契約社員、派遣社員
5. 学生 6. 家事専業
7. 無職 8. その他（具体的に： ）

問才 結婚していますか。

1. している
2. していないがパートナーと暮らしている（事実婚）
3. していた（離婚・死別）
4. していない（未婚）

【問才で「1 している」「2 していないがパートナーと暮らしている（事実婚）」とお答えの方にお聞きします。】

問オー1 あなたとパートナー（配偶者など。事実婚含む）は共働きをしていますか。

1. 共働き（ともにフルタイム）
2. 共働き（どちらか、またはともにパートタイム）
3. どちらか一方だけが仕事を持っている
4. どちらも無職
5. その他（具体的に： _____）

問4 あなたの家族構成は、次のうちどれですか。

1. 単身世帯（１人） 2. 夫婦のみ（パートナー、事実婚含／１世代世帯）
3. 親と子（２世代世帯） 4. 親と子と孫（３世代世帯）
5. その他の世帯（具体的に： _____ ）

問キ 20歳未満のお子さんがいる方にお聞きします。あなたのお子さんは、次のどれにあたりますか。（複数いる場合は、すべて選択）

1. 未就学児（0歳～小学校入学前）
2. 小学生
3. 中学生
4. 高校生以上（もしくは16歳以上）

1 男女共同参画社会に関する考え方について

問1 あなたは次のような場面で、男女の地位は平等になっていると思いますか。（〇はそれぞれ1つずつ）

	男性の方が非常に 優遇されている	どちらかといえば 男性の方が優遇さ れている	平 等	どちらかといえば 女性の方が優遇さ れている	女性の方が非常に 優遇されている
①家庭生活の中で	1	2	3	4	5
②職場で	1	2	3	4	5
③学校教育の場で	1	2	3	4	5
④地域活動の場で	1	2	3	4	5
⑤政治の場で	1	2	3	4	5
⑥法律や制度面で	1	2	3	4	5
⑦社会習慣・しきた りの面で	1	2	3	4	5
⑧社会全体として	1	2	3	4	5

問2 「男は仕事、女は家庭」という考えについて、あなたの考え方に近いものを選んでください。（〇は1つ）

1. 「男は仕事、女は家庭」が望ましい
2. 男女とも仕事をするが、家事や育児は主に女性の役割だ
3. 男女とも仕事をし、家事や育児も分かち合うのがよい
4. 「女は仕事、男は家庭」が望ましい
5. 男女とも仕事をするが、家事や育児は主に男性の役割だ

問3 性的マイノリティ（LGBT等）の性的少数者についてどの程度知っていますか。（〇は1つ）

1. 言葉と意味の両方知っている
2. 言葉は知っている
3. 知らない

問4 性的マイノリティ（LGBT 等）の人たちが暮らしやすい社会にするためには、どのような意識啓発や支援が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

1. 性的マイノリティの人が相談できる窓口の設置
2. 幼少期からの教育の充実
3. 行政による啓発講座やパンフレットの配布
4. いじめや差別を禁止する法律や条例の制定
5. パートナーシップ制度※の導入
6. 気持ちや情報を共有できる居場所づくり
7. 行政職員や教職員に対する研修の実施
8. 職場における理解の促進
9. 更衣室やトイレなど男女で区別されているものに対する配慮
10. その他（具体的に： _____）
11. 特に必要なことはない
12. わからない

※パートナーシップ制度

自治体が同性カップルにパートナーシップ証明書を発行する制度。この証明書は、事業所などに最大限の配慮を求めるもので、これまで対象外であったサービスなどを受けられるようにするための支援策です。

2 家庭生活について

【既婚の方（事実婚を含む）におたずねします】

問5 あなたの家庭では、次のことをどなたが主に行っていますか。（〇はそれぞれ1つずつ）

	1 おもに妻	2 妻が主で夫が協力	3 妻と夫が半分ずつ	4 夫が主で妻が協力	5 おもに夫	6 その他の家族	7 その他	8 該当者なし
ア) 食事の準備・後片づけ	1	2	3	4	5	6	7	
イ) 部屋の掃除	1	2	3	4	5	6	7	
ウ) 洗濯	1	2	3	4	5	6	7	
エ) 日常の買い物	1	2	3	4	5	6	7	
オ) 子どもの世話	1	2	3	4	5	6	7	8
カ) 子どもの教育	1	2	3	4	5	6	7	8
キ) 家族の介護	1	2	3	4	5	6	7	8
ク) 家計の管理	1	2	3	4	5	6	7	

1. 男性が家事などを行うことに対する男性自身の抵抗感をなくすることが必要
2. 夫婦やパートナー、家族間でのコミュニケーションをよく図ることが必要
3. 男性が家事などを行うことに対する職場の理解が進むことが必要
4. 労働時間の短縮や休暇を取りやすくすることで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすることが必要
5. 講習会や研修等を行い、男性の家事・育児・介護の技能を高めることが必要
6. 男性が育児、介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーク）づくりを進めることが必要
7. その他（具体的に： ）

1. 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てた方がよい
2. 「男らしさ」、「女らしさ」を強調しないが、性差に配慮して育てたほうがよい
3. 「男の子」あるいは「女の子」を意識せず、区別なく育てた方がよい
4. その他（具体的に： ）

1. 互いの性を尊重しあえる教育の充実が必要
2. 性別役割分担などの固定観念の解消が必要
3. 生活・進路指導における男女平等への配慮が必要
4. 教科書や副読本などの表現における男女平等への配慮が必要
5. 教師自身の男女平等教育への理解が必要
6. 校長や教頭など役職のある立場の男女平等教育に対しての理解が必要
7. 学校が PTA などを通じ、保護者等が男女平等教育の理解と協力を深めることが必要
8. その他（具体的に： ）

3 職業生活について

問9 女性と職業について、あなたの考えに近いものを選んでください。(○は1つ)

1. 生涯にわたり、職業を持ち続けるのがよい
2. 子どもが生まれたら一旦職を辞め、子どもが成長した後再び職業につくのがよい
3. 子どもが生まれるまでは職業につき、子どもが生まれた後は家事や育児に専念するのがよい
4. 結婚するまでは職業について、結婚した後は家事に専念するのがよい
5. 女性は職業につかない方がよい
6. その他(具体的に:)
7. 特に考えはない

問10 あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、女性に対して次のようなことがありますか。働いている方(パート・アルバイト含む/学生除く)のみ、ご回答ください(あてはまるものすべてに○)

1. 賃金に男女差がある
2. 昇進・昇格に男女差がある
3. 能力を正當に評価しない
4. 配置場所が限られている
5. 補助的な仕事しかやらせてもらえない
6. 女性を幹部職員に登用しない
7. 結婚や出産で退職しなければならないような雰囲気がある
8. 中高年以上の女性に退職を勧奨するような雰囲気がある
9. 教育・研修を受ける機会が少ない
10. その他(具体的に:)

問11 あなたは、女性が出産や介護などを理由に離職せずに働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いますか。(○は3つまで)

1. 保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備
2. 介護支援サービスなどの充実
3. 家事・育児支援サービスの充実
4. 男性の家事参加への理解・意識改革
5. 女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革
6. 働き続けることへの女性自身の意識改革
7. 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革
8. 職場における育児・介護との両立支援制度の充実
9. 短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入
10. その他(具体的に:)
11. 特にない

4 ワークライフバランスについて

問12 近年、仕事と生活の調和を目指す「ワークライフバランス」という考え方が広がってきています。「仕事」と「家庭生活及び町内会やボランティアなどの地域活動」の位置づけについて、「あなたが考える本来あるべき姿」と、「実際のあなたの状況」を、お答えください（それぞれ枠内に番号を記載）。

※「実際のあなたの状況」は、パート・アルバイト（学生除く）なども含むお仕事をされている方のみ回答ください。

1. 「家庭生活及び地域活動」よりも、「仕事」に専念
2. 「家庭生活及び地域活動」にも携わるが、あくまで「仕事」を優先
3. 「家庭生活及び地域活動」と「仕事」を同じように両立
4. 「仕事」にも携わるが、「家庭生活及び地域活動」を優先
5. 「仕事」よりも、「家庭生活及び地域活動」に専念

あなたが考える 本来あるべき姿		実際のあなたの 状況	
--------------------	--	---------------	--

問13 一般に、男女が共に「仕事」と「家庭生活や地域活動」の両立を可能とするためには、特にどのようなことが必要だと思いますか（〇は3つまで）。

1. 給与等の男女格差の解消
2. 労働時間の短縮及び休暇制度の充実・普及
3. 育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境の整備
4. 育児や介護のために退職した職員の復職又は再就職が可能となるような制度の導入
5. 柔軟な勤務制度の導入（在宅勤務やフレックスタイム制度など）
6. 金銭面での支援の充実（出産一時金や育児休業・介護休業中の手当の増額など）
7. 保育・介護サービスの向上（保育・介護施設の充実や保育・介護時間の延長など）
8. 会社の家庭生活・地域活動参加への理解
9. 「男は仕事、女は家庭」といった固定的性別役割分担意識の解消
10. 家庭や学校における男女平等教育
11. その他→具体的に（ ）

5 社会参画について

問14 あなたがア)～オ)の役職等への就任や立候補を依頼されたらどうしますか。
(○はそれぞれ1つずつ)

	承諾する	承諾しない	わからない
ア) PTA 会長	1	2	3
イ) 自治会長	1	2	3
ウ) 職場の管理職	1	2	3
エ) 市の審議会等の委員	1	2	3

問14-1 問14で、役職等への就任や立候補を依頼されたときに、「承諾しない」を選んだ方にお伺いします。その理由についてあなたの考えで近いものをそれぞれ選んで番号を記入してください。その他の場合は具体的な理由もご記入ください。

	承諾しない理由
ア) PTA 会長	
イ) 自治会長	
ウ) 職場の管理職	
エ) 市の審議会等の委員	

1. 自信がないから 2. リーダーシップがないから
3. 責任のある職に就きたくないから 4. 家事・育児・介護などがあるから
5. 仕事をしているから 6. 男性が就くものだから
7. 女性が就くものだから 8. 健康上の問題があるから
9. その他

問14-2 あなたのパートナーがア)～オ)の役職等への就任や立候補を依頼されたらどうしますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	承諾する	承諾しない	わからない
ア) PTA 会長	1	2	3
イ) 自治会長	1	2	3
ウ) 職場の管理職	1	2	3
エ) 市の審議会等の委員	1	2	3

問15 役職等への就任や立候補を依頼された際に「承諾する」という女性が増えるなど、女性の指導的地位に占める割合を増やすために必要なことについて、あなたの考えに近いものを選んでください。(〇は3つまで)

1. 女性の役職等就任への意識改革
2. 組織の運営体制の改善
3. 能力開発のための研修機会の充実
4. 家族の支援や協力
5. 一定の割合で女性を登用する制度の充実
6. わからない
7. その他(具体的に：)

6 防災分野における男女共同参画について

問16 あなたは、防災分野における男女共同参画の推進のために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 防災対策に男女共同参画の視点を反映させるため、防災会議における女性委員の割合を高めること
2. 避難所運営に男女双方の視点が反映されるよう、男女それぞれの責任者を配置すること
3. 女性消防団員の入団を促進すること
4. 市民、消防団、自治防災組織などを対象とした研修訓練の実施にあたり男女共同参画の視点からの内容を盛り込むこと
5. 地域防災計画や避難所運営マニュアルに男女共同参画の視点をより具体的に記述すること
6. 地域の防災を担う女性リーダーなどの人材を育成すること
7. 特に必要なことはない
8. その他(具体的に：)
9. わからない

7 DV（ドメスティック・バイオレンス）、ハラスメントなどについて

問17 あなたは、パートナー（配偶者や恋人など）から暴力をふるわれたことがありますか。（○は1つ）

- | | |
|-------|------|
| 1. ある | 問18へ |
| 2. ない | 問21へ |

（問17で「1. ある」とお答えの方にお聞きします）

問18 暴力をふるわれたとき、あなたは誰かに相談しましたか。（○は1つ）

- | | |
|-------------|------|
| 1. 相談した | 問19へ |
| 2. 相談できなかった | 問20へ |
| 3. 相談しなかった | 問20へ |

（問18で「1. 相談した」と答えた方にお聞きします）

問19 実際に、どこ（誰）に相談しましたか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|----------------------------|----------|-------------|
| 1. 家族 | 2. 友人・知人 | 3. 同じ経験をした人 |
| 4. 家庭裁判所・弁護士・警察など | | |
| 5. 市役所などの公的機関（相談窓口・電話相談） | | |
| 6. 医師・カウンセラーなど | | |
| 7. 民間の機関など（NPO など民間支援グループ） | | |
| 8. その他（具体的に： _____ ） | | |

（問18で「2. 相談できなかった」「3. 相談しなかった」と答えた方にお聞きします）

問20 相談できなかった・相談しなかった理由は何ですか。（○は3つまで）

- | |
|---------------------------------------|
| 1. どこ（誰）に相談してよいかわからなかったから |
| 2. 相談する人がいなかったから |
| 3. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから |
| 4. 被害を受けたことを思い出したくなかったから |
| 5. 相談しても無駄だと思ったから |
| 6. 相談したことがわかると、仕返しやもっとひどい暴力を受けると思ったから |
| 7. 自分さえ我慢すればなんとかこのままやっていけると思ったから |
| 8. 他人を巻き込みたくなかったから |
| 9. 子どもに危害が及ぶと思ったから |
| 10. 自分にも悪いところがあると思ったから |
| 11. 相談するほどのことではないと思ったから |
| 12. その他（具体的に： _____ ） |

問21 「DV（ドメスティック・バイオレンス）」に対する対策や援助として、特にどのようなものを充実すべきだと思いますか。（〇は3つまで）

1. 経済的な自立に向けた支援を行うこと
2. 相談窓口を増やしたり、相談窓口の情報を提供すること
3. 家庭裁判所、弁護士、警察などの法的援助
4. 医師、カウンセラーなどの医療・心理的援助
5. 市役所などの公的機関での情報提供と支援
6. 民間支援グループなどの援助
7. 身の安全を保障できる場所の提供
8. 被害者に対する周囲の理解と協力を得やすくすること
9. 加害者への指導やカウンセリングを行うこと
10. お互いの人権を大切にする教育の充実
11. その他（具体的に： _____）
12. 特に援助は必要ないと思う

8 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響について

問22 新型コロナウイルス感染症の影響で家族やあなたの仕事の仕方は変わりましたか。働いているまたは働いていた方に伺います。（あてはまるものすべてに〇）

1. 変わらない
2. 在宅で仕事をするようになった
3. 時差出勤になった
4. 出勤日数が減った
5. 自己都合で仕事を休むことがある
6. 残業や休日出勤が増えている
7. 会社の都合で仕事を休むことがある
8. 短時間勤務になった
9. 自己都合で仕事を辞めた
10. 会社都合で仕事を辞めた（雇止め、派遣切りを含む）
11. その他（具体的に： _____）

問23 新型コロナウイルス感染拡大で、あなたの家庭の収入は変わりましたか。

1. 収入は変わらない 2. 収入が減った 3. 収入が増えた
4. 収入がなくなった 5. その他（具体的に： _____）

問24 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、あなたの生活や行動に変化がありましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 友達に会えなくなった
2. やりたいことができなくなった
3. 食事の支度や掃除などの家事負担が増えた
4. 学校が休みになった時、子どもの世話が増えた
5. 生活のリズムが不規則になった
6. 子どもを叱ることが増えた
7. ささいなことでパートナーとケンカをするようになった
8. パートナーからDV・ハラスメントを受けるようになった（悪化）
9. 特に変化したことはない
10. 以前よりよくなった（具体的に： _____）
11. その他（具体的に： _____）

9 男女共同参画の推進について

問25 「男女共同参画社会の実現」に向けて、市に特に力を入れてほしい施策はなんですか。（○は3つまで）

1. 市役所の各種審議会の委員など、政策決定の場に女性を多く登用する
2. 企業主など雇う側が男女共同参画に理解を深めるように働きかけをする
3. 子育てや介護などでいったん仕事を辞めた方への再就職を支援する
4. 女性のための職業教育や訓練の場をつくる
5. 子育て支援の施策を充実する
6. 介護者が社会参加しやすくするため、介護支援サービスを充実させる
7. 男女共同参画の視点に立った教育や学習をすすめる
8. DVをはじめとする暴力やさまざまなハラスメントを根絶するための啓発・支援（相談体制の充実等）を促進する
9. その他（具体的に： _____）
10. わからない

問26 これからの君津市の男女共同参画について、ご意見がありましたらお聞かせください。

以上でアンケートは終わりです。

調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご記入いただきました本調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、
〇月〇日（〇）までに郵便ポストに投函してください。